

概要版

あいち

# 社会資本整備方針

～未来を拓き、暮らしに寄り添う社会資本づくり～

2025

輝く

守る

高める



## <策定趣旨>

- 愛知県では、2022年秋の開業を目指すジブリパークや、2026年のアジア競技大会の開催、2027年度のリニア中央新幹線東京・名古屋間開業といった愛知のさらなる飛躍につながるプロジェクトが進んでおり、本県の社会資本が果たす役割は一層重要になる一方で、少子高齢化、発生が懸念される南海トラフ地震、頻発・激甚化する自然災害、進行するインフラ老朽化など、社会資本を取り巻く環境は一段と厳しさを増している。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、人々の生活や経済活動が危機に直面している。
- このような状況の中、現行の「愛知県建設部方針2020」が計画期間の終了を迎えるため、県全体の長期計画である「あいちビジョン2030」の策定等を踏まえ、2025年度までに建設部門が進めていくべき取組方針を示す「あいち社会資本整備方針2025」を策定する。

## <理念>

### ～未来を拓き、暮らしに寄り添う社会資本づくり～

- 日本一元気な愛知として日本経済の力強い回復や日本の成長を牽引し、県民の生命、財産を守り安全で安心な生活を支えるとともに、魅力にあふれ快適に暮らすことができる持続可能な社会を実現する。

## <計画期間>

- 2021年度～2025年度（5年間）

## <3つのテーマ>

### 1 あいちを高める

- 日本の成長を牽引する愛知の国際競争力を強化し、地域の活力を創出する「あいちを高める」取組を計画的に進めていく。

### 2 あいちを守る

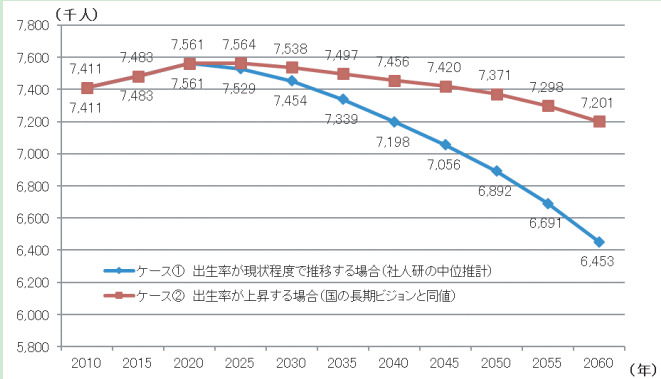
- 地震・津波、風水害などから県民の生命・財産を守り、安全で安心な生活を支える「あいちを守る」取組を計画的に進めていく。

### 3 あいちが輝く

- 地域が魅力にあふれ、県民が快適に暮らすことができる持続可能な社会を実現する「あいちが輝く」取組を計画的に進めていく。

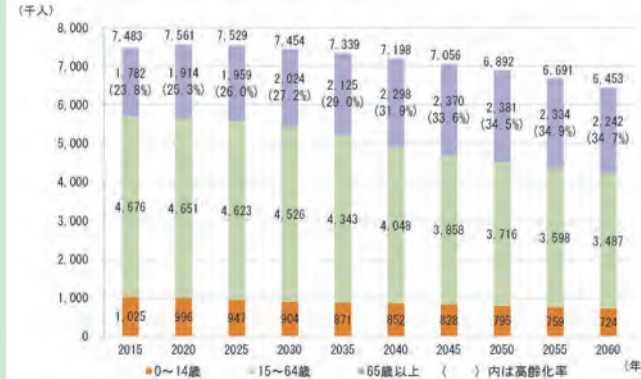
## 1 人口動向、経済状況、産業状況

- 本県の人口は、2020年～2025年頃をピークに減少に転じる見通し
- 2040年には高齢化率（総人口に占める65歳以上人口の割合）が30%を超え、3人に1人が高齢者となる見込み
- 県内貿易港輸出額は全国1位（2019年）、製造品出荷額等は1977年以降連続で全国1位（2018年）、県内総生産は全国2位（2016年度）
- 新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、人々の生活や経済活動が危機に直面



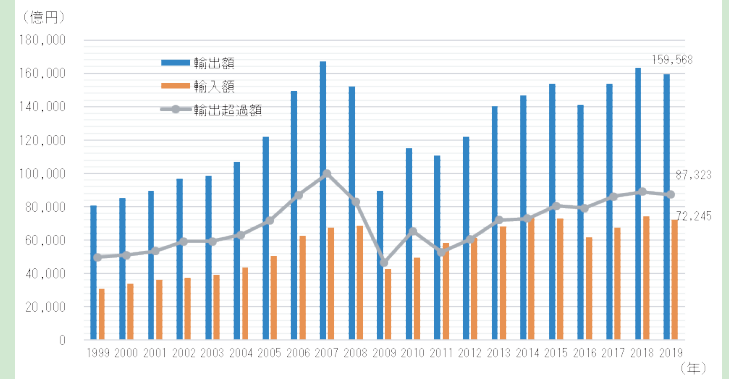
本県人口の長期的な見通し

(出典：第2期愛知県人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略 2020年3月 愛知県)



本県人口の長期的な見通し(年齢3区分別)ケース①の場合

(出典：第2期愛知県人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略 2020年3月 愛知県)

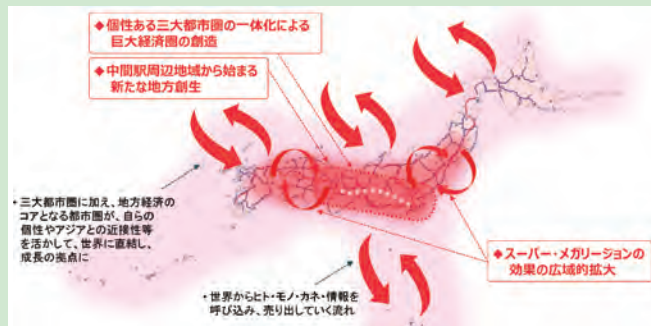


輸出額・輸入額・輸出超過額の推移(愛知県)

(出典：名古屋税関「管内貿易概況」をもとに作成)

## 2 リニアの整備進展

- リニア開業により大幅な時間短縮が図られ、首都圏から中京圏に及ぶ人口5千万人規模のリニア大交流圏が誕生
- 大阪までの全線開業により、首都圏、中京圏、関西圏が一体となった人口7千万人規模のスーパー・メガリージョンを形成



スーパー・メガリージョンの形成のイメージ

(出典：国土交通省「スーパー・メガリージョン構想検討会 最終とりまとめ」(2019年5月))

## 3 発生が懸念される南海トラフ地震

- 南海トラフ地震の発生による被害予測(2014年公表)は、建物の全壊が約47,000棟、死者数が約6,400人、直接的経済被害額が約13.86兆円
- 本県は日本最大のゼロメートル地帯を有し、巨大地震が発生した場合、津波等の浸水により多くの人命危機、産業の機能停止といった甚大な影響を及ぼすおそれ



南海トラフ地震の震度分布など(2014年公表)

## 4 気候変動に伴う風水害

- 豪雨、高潮、暴風、渇水など、気候変動の影響などによる気象の急激な変化や自然災害の頻発・激甚化
- 河川・海岸・港湾・砂防施設などの施設強化を図るとともに、「流域治水」への転換を推進し、ハード対策・ソフト対策を一体化した防災・減災、国土強靱化の取組が必要



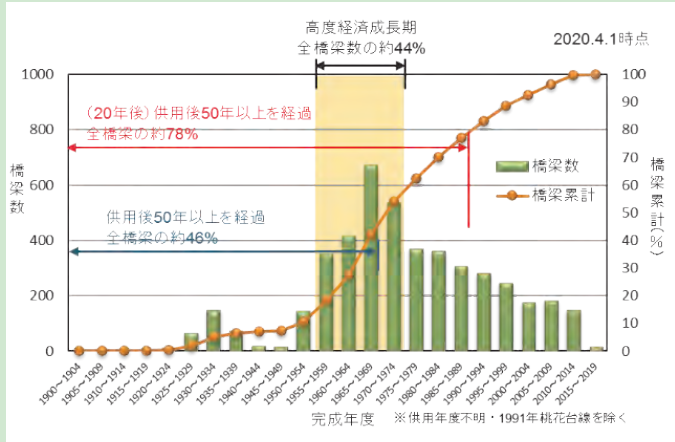
河川の氾濫  
(2011年台風15号 八田川(春日井市))



土石流の発生  
(2000年東海豪雨 河上瀬川(豊田市))

## 5 インフラ老朽化の進行

- 戦後の復興期から高度経済成長期にかけ、急激な人口増や経済成長に伴う行政ニーズに対応するため、集中的に整備した社会インフラが更新や大規模修繕の時期を迎える



愛知県管理の橋梁数の推移



橋梁の老朽化

## 6 厳しい交通事故情勢

- 交通事故死者数は減少傾向にあり、2019年に交通事故死者数全国ワーストを脱したものの、依然として厳しい状況
- 高齢ドライバーによる交通事故が多発



交通事故発生件数、死者及び死傷者数の推移(愛知県)

## 7 国内外の交流拡大

- ジブリパークや、アジア競技大会など、世界の注目を集めるビッグプロジェクトが進捗
- 「Heart of JAPAN」をキーワードとした様々な観光振興につながる取組を推進
- 新型コロナウイルス感染症を受けた各国の海外渡航制限等の措置により訪日外国人旅行者は激減



ジブリパーク「青春の丘エリア」基本デザイン ©Studio Ghibli

## 8 持続可能な社会の実現

- 国連が掲げた持続可能な開発目標 (SDGs) の理念を踏まえ、経済・社会・環境の三側面における調和のとれた取組を推進
- 持続可能な社会や経済成長を確実なものとするために、強靱な経済構造の構築が必要



SDGsの17の目標

## 9 第4次産業革命の到来

- IoT、AI、ロボット技術などの発展による第4次産業革命が到来
- 「Aichi-Startup戦略」により「ステーションA i」の整備などの取組を推進
- テレワークの普及拡大、ICT化の動きが加速デジタル化への環境整備の必要性が増大



Society 5.0のイメージ(出典:内閣府資料)

## 1 あいちを高める

- 日本の成長を牽引する愛知の国際競争力を強化し、地域の活力を創出する「あいちを高める」取組を計画的に進めていく。

### (1) 陸・海・空一体の国際競争力の強化

- ① 広域幹線道路ネットワークの強化
- ② 空港・港湾へのアクセス道路の強化
- ③ 生産拠点への物流を支える道路の強化
- ④ リニアの建設促進
- ⑤ リニア開業を見据えた公共交通ネットワークの充実・強化
- ⑥ 港湾の整備推進(名古屋港・衣浦港・三河港)
- ⑦ 中部国際空港の二本目滑走路の整備促進
- ⑧ ジブリパークの整備による愛・地球博記念公園のさらなる進化



港湾アクセス道路の整備  
(国道247号、国道419号)



-11m岸壁及びびふ頭用地の造成  
(三河港蒲郡地区)



中部国際空港



パース: JR名古屋駅中央コンコース(東側)から至東山線  
中央改札階段等方向を望む

(出典:名古屋駅前広場の再整備プラン【中間とりまとめ】2019年1月(名古屋市))

### (2) 地域の活性化

- ① 集約型まちづくりの推進
- ② 都市間・地域内道路ネットワークの強化
- ③ 有料道路コンセッションの取組継続
- ④ 公共交通ネットワークの形成
- ⑤ 鉄道高架事業の推進
- ⑥ 適正な土地利用への誘導
- ⑦ 活力ある産業・住宅用地の確保
- ⑧ 地籍整備の推進
- ⑨ 地域の特性を活かした緑のまちづくりの推進
- ⑩ 水資源の安定確保



道路の拡幅(県道名古屋岡崎線)



鉄道高架事業の推進例(新清洲駅付近鉄道高架)

## 2 あいちを守る

- 地震・津波、風水害などから県民の生命・財産を守り、安全で安心な生活を支える「あいちを守る」取組を計画的に進めていく。

### (1) 地震・津波対策

- ① 緊急輸送道路等の整備及び橋梁の耐震化
- ② 港湾・漁港施設の耐震化
- ③ 河川・海岸施設の耐震化
- ④ 下水道施設の耐震化
- ⑤ 住宅・建築物の耐震化
- ⑥ 無電柱化の推進
- ⑦ 防災・減災に資する緑とオープンスペースの保全と創出
- ⑧ 事前復興まちづくりに向けた支援



対策前



対策後

橋梁の耐震補強(県道蟹江飛島線 新善太川橋)



水門等の耐震化及び自動閉鎖化  
(西尾海岸 平坂樋門)



河川施設の耐震化  
(新川)

### (2) 風水害対策

- ① 洪水対策
- ② 高潮対策
- ③ 土砂災害防止対策
- ④ 落石等防止対策



河道整備(天白川)



急傾斜地崩壊防止施設の整備(今御堂区域)



対策前



対策後

高潮対策(南知多海岸内海・山海地区)

## (3) インフラ老朽化対策

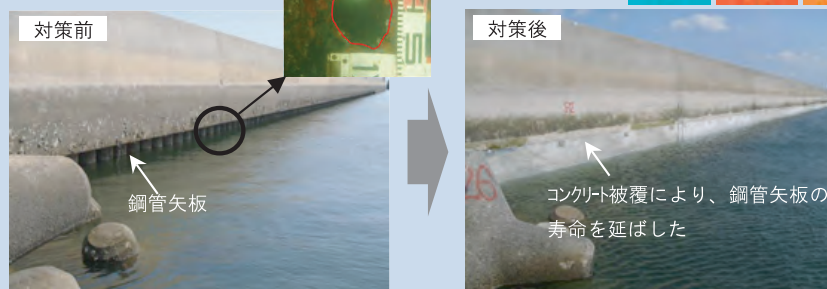
### ① メンテナンスサイクルの確実な実施

#### 道路施設



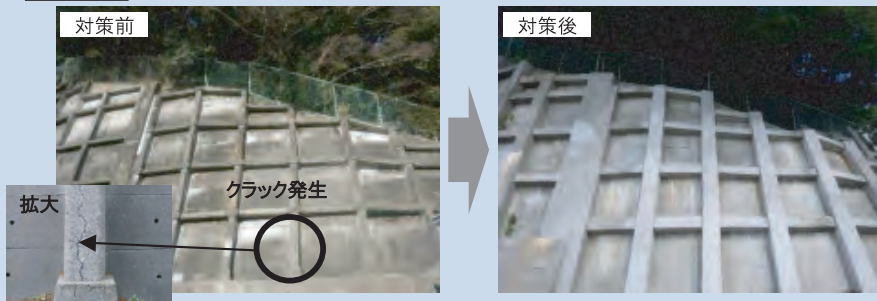
橋梁の修繕工事(県道西中山越戸停車場線 青木橋歩道橋)

#### 港湾・漁港施設



漁港の防波堤における予防保全対策(形原漁港)

#### 砂防施設



急傾斜地崩壊防止施設の修繕工事(間草区域)

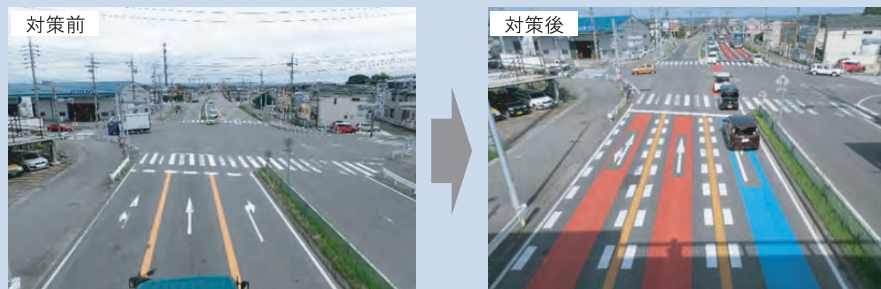
#### 県営住宅



長寿命化改善工事(県営大森向住宅)

## (4) 交通事故対策

- ① 幹線道路における交通事故対策の推進
- ② 歩行者・自転車優先の道づくりの推進



カラー舗装等による速効対策(県道岡崎環状線)

## (5) 山間・離島対策

- ① 山間地域の暮らしを支える交通ネットワークの強化
- ② 漁村地域の暮らしを支える漁港の整備推進



バイパスの整備(国道151号 新太和金トンネル)



フェリー岸壁の耐震化(篠島漁港)



## 3 あいちが輝く

● 地域が魅力にあふれ、県民が快適に暮らすことができる持続可能な社会を実現する「あいちが輝く」取組を計画的に進めていく。

### (1) 地域の魅力向上

- ① 観光地へのアクセス道路の整備と「道の駅」の整備支援
- ② みなとまちづくりの推進
- ③ 航空機産業をベースとした産業観光の強化
- ④ 市街地再開発事業等の促進
- ⑤ 地域コミュニティを育む場としての緑の活用
- ⑥ 美しい愛知づくりの推進
- ⑦ かわまちづくりの推進



道の駅  
「とよはし」



みなとオアシス  
がまごおり  
バリアフリー  
ポンプーン  
「マンボウ」

### (2) 快適な生活空間の創出

- ① QOL(生活の質)の向上に貢献する身近な緑とオープンスペースの確保
- ② 下水道整備による快適な生活環境の保全・創出
- ③ 下水道事業における広域化・共同化
- ④ 住宅セーフティネットの重層化
- ⑤ 高齢者向け賃貸住宅の供給促進



幹線管渠整備  
状況  
(日光川下流域  
下水道)



県営平針住宅

### (3) 自然環境の保全・創出

- ① 港湾緑地の整備推進
- ② 海域環境の改善
- ③ 緑の恩恵を享受していくための生物多様性への配慮(都市の緑の保全・創出)
- ④ 多自然川づくりの推進
- ⑤ 下水道整備による健全な水環境の保全・創出



整備前



整備後

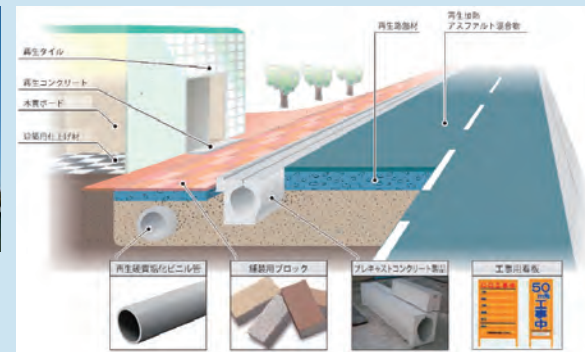
佐奈川の水質改善状況

### (4) 循環型社会の構築

- ① 下水道エネルギーの有効活用
- ② 環境に配慮した建築物・住宅の普及啓発
- ③ あいくる材の利用促進



バイオガス発電  
(電力会社へ売電:豊川浄化センター)



あいくる材の活用例

## (1) 事業の選択と集中

- ・社会資本のストック効果が最大限に発揮されるよう、投資効果や必要性の高い事業の重点化

## (3) 建設業の働き方改革と担い手の確保・育成

- ① 建設現場の労働環境改善
- ② イブニングサロン・出前講座・現場見学会の開催



快適トイレの設置例



イブニングサロンの開催状況

## (2) 事業の評価

- ・事前評価、再評価、事後評価からなる公共事業評価を実施
- ・公共事業におけるPDCAサイクルの確立

## (4) 社会資本整備のデジタル化

- ① i-Constructionの推進
- ② 統合情報データベース基盤の整備推進



ICTバックホウによる法面整形



UAV(無人航空機)による現場状況確認

## (5) 民間活力の活用

- ① 有料道路コンセッションの取組継続
- ② 県営都市公園における民間活力の活用
- ③ 下水道事業における官民連携 (PPP/PFI等) の活用
- ④ 県営住宅建替におけるPFI方式の活用
- ⑤ 指定管理者制度の活用



民間のノウハウを活かした施設整備(フォレストアドベンチャー・新城)(新城総合公園)

## (6) 関係機関との協力体制の強化・充実

- ① 防災協定の強化・充実
- ② BCP の強化・充実

## (7) 市町村への支援


- ① 「市町村まちづくり支援窓口」による技術的支援

## (8) まち歩きイベントの開催

- ① ブラアイチの開催

- 2025年度における本県の社会資本の姿が具体的にイメージできるよう、取組指標を設定し、指標の目標達成に向けて、毎年度、進捗状況のフォローアップを実施し、マネジメントの徹底に取り組んでいく。





あいち 社会資本整備方針

～未来を拓き、暮らしに寄り添う社会資本づくり～

2025

愛知県建設局土木部建設企画課

愛知県名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

Tel : 052-954-6611 (企画第二グループ)

e-mail : kensetsu-kikaku@pref.aichi.lg.jp